

ロシア：ハサン～羅津港経由石炭輸送

2016年3月17日掲載

3月8日の現地報道によれば、在韓ロシア大使館は7日、ハサン～羅津ロジスティック・プロジェクトにおける韓国の参加に関して、韓国政府の停止決定について通知を受けた。韓国側は対北朝鮮の追加制裁を発表、北朝鮮に寄港した第三国の船舶が韓国の水域に侵入することを禁止する。

この決定は、北朝鮮の鉄道～羅津港ルートを韓国への石炭輸出に利用しているロシア企業の利益を損なうことになる。直接的な損失が出なかったとしても、羅津港のターミナル取扱量を年間500万tにまで拡張する計画は幻となり、予定していた利益と投資を得ることができなくなる。また朝鮮半島の鉄道網とともにシベリア鉄道を利用する計画を軸としたアジア太平洋地域におけるロシアのプレゼンスを高める新戦略の実現は難しくなった。

3月9日の現地報道によれば、ロシア鉄道は羅津港経由の石油輸送プロジェクト実現を継続する意向を表明しているが、アナリストは、同計画が少なくとも北朝鮮制裁解除まで停止を余儀なくされることは必至と見ている。ロシアにとって同計画は、韓国から欧州への海路輸送に代わる輸送手段としてシベリア鉄道を位置づけており、ロシア極東地域を活性化する上で重要な意味を持っている。

(モスクワ事務所 屋敷 真理子)

おことわり：本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行っておりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。